

第14回 資源循環型施設建設候補地選定委員会 会議録

日時：平成18年 8月 5日(土)
午前9時30分～11時40分
場所：清浄園 2階 会議室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 報告事項

第12回委員会の会議録について

4 議題

(1) 現地調査後の評価について

(2) 追加項目による10候補地の評価・・・・・・・・・・(資料1)

(3) 候補地選定に係る情報収集報告・・・・・・・・・・(資料2)

5 その他

次回委員会について 8月下旬もしくは9月上旬(予定)

6 閉 会

出席委員（15人）

栗田たか子	委員
宮原 則子	委員
上沢 忠人	委員
両角 秀	委員
若林 政夫	委員
金井 善男	委員
樋口 勲	委員
小山 敏子	委員
木口 憲爾	委員
表 秀孝	委員
藤原 信一	委員
下村 聖	委員
大井 一郎	委員
柳澤 旨賢	委員
山本 哲	委員

欠席委員 なし

出席者 事務局（10人）

上田市役所	廃棄物対策課	課長	田中 行房
東御市役所	市民課	課長	掘口 雅人
上田市役所	丸子地域自治センター		
	市民生活課	課長	堀内 親夫
上田市役所	真田地域自治センター		
	市民生活課	課長	清水 忠
上田市役所	武石地域自治センター		
	建設環境課	課長	掛川 兼司
青木村役場	住民福祉課	課長	中澤知賀雄
長和町役場	町民課	課長	丸山 敏和
上田地域広域連合事務局		事務局長	三好 健三
上田地域広域連合事務局	ごみ処理広域化推進室	室長	宮澤 俊文
上田地域広域連合事務局	ごみ処理広域化推進室	主任	塩入 学

出席者 コンサルタント（1人）

国際航業株式会社	技術本部	環境統括部	
	環境施設部	課長	尾葉石 優

開会（ 9 時 3 0 分 ）

1 開会

（事務局）

2 委員長あいさつ

（委員長）

3 報告事項

第 1 2 回会議録の確認について

（委員長）

事前に送付されているが、修正等はよろしいか。

（各委員）

特に変更等の意見なし

4 議題

（委員長）

議題に入る前に図面の差し替えについて事務局から説明をお願いしたい。

（事務局）

第 1 3 回の委員会として 7 月 1 5 日に 1 0 箇所の候補地を現地調査しましたが、事務局からの資料は特に用意してございません。それぞれの候補地の状況について御意見をいただければと思いますが、よろしくお願ひいたします。

お手元の資料に候補地 2 1 である川西地区泉池造成地及び隣接山林の拡大図、航空写真、1 0 候補地の全体図を配布してあります。

候補地を 4 h a 程度としているわけですが、かなり広く候補地を設定していましたので、4 h a 程度に変更し、図面を差し替えいただきたいのですがよろしくお願ひいたします。

（委員長）

候補地 2 1 である川西地区泉池造成地及び隣接山林については、4 h a 程度に修正するという事で差し替えをお願いしたい。

議題に入る前に（ 1 ）現地調査後の評価については、各委員からの御意見をお願ひしたいが、追加項目の評価については、順位付けをせずに参考資料としたい。候補地ごとに周辺の自治会・区の役員から情報収集を事務局にしてきてもらっているの、事務局からの説明の後委員から御意見をお願ひしたい。

(2) 追加項目による 10 候補地の評価

(事務局)

資料 1 (2) 追加項目による 10 候補地の評価について資料 1 に基づいて説明する。

(3) 候補地選定に係る情報収集報告

(事務局)

資料 2 (3) 候補地選定に係る情報収集報告について資料 2 に基づいて説明する。

(委員長)

追加項目の評価、候補地周辺の自治会・区の役員さんから情報について事務局から説明をしてもらったが何か質問等はあるか。

(委員)

追加項目の評価について事務局から説明があったが、候補地 11 - 1 である神の倉工業団地の用水の確保の評価が “ A ” になっているが、干ばつ地帯で水には大変苦労している地域であるが、井戸の地下水は可能であるのか。工業団地造成時に上水道をどうするかという議論があり、井戸を掘ったら鉄分が多く飲料水には使用できないということがあった。

あと放流先の評価であるが、丸子クリーンセンターでは用水を使用し、100%循環利用していると聞くがどうか。

(事務局)

神の倉工業団地の井戸の関係については、井戸があり水量も十分であるという資料がありましたので評価を “ A ” としましたが、確かに鉄分が多いということも記載されていたので、鉄分を除去する必要があると思います。必要であれば詳細なデータを収集しなければいけないと思います。

放流先の評価については、放流水があるかどうかについては現在稼働しているクリーンセンターについても循環利用して放流はしていませんので、あまり重要視される評価項目ではないと思います。

(委員)

神の倉工業団地一帯は、干ばつ地帯であるので用水の確保の評価が “ A ” であればどの候補地も “ A ” であると思うが、井戸の関係については、必要に応じて詳細なデータを調査しておいてもらいたい。

放流先の評価が “ C ” というと、現状の水に対して悪い評価だとイメージされるので、循環されるとすれば水の基礎データをしっかりしておいてもらいたい。

(委員)

事務局に各候補地周辺の自治会・区の役員さんから情報収集してもらったが、資料 2 の 6 ページにある小泉自治会であるが、施設の安全性や環境に配慮した施設であればよいという御意見が多かったととらえていいのか。

(事務局)

比較的前向きな御意見が多かったということでもあります。

(委員)

資料2の6ページに「リサーチパークからもう少し離れた場所でも道路を作れば建設はできる場所がある」というのはどういうことか。

追加項目の評価として6項目を評価してランク分けしてあるが、“造成の容易性”と“搬入経路の改修工事の必要性”というのは、施設建設に関する予算規模からするとそんなに重要な項目でないと考えるが。

(事務局)

造成の容易性については、中間報告書に追加項目についても、評価するという事になっているので、重要であるかないかは委員会で判断していただければと思いますがよろしくをお願いします。

(委員長)

追加項目の扱いであるが、今のところ委員会としては優先項目と同じようにランク分け・点数化して順位付けするようなことはせず、追加項目はランク分けまで行い参考項目として扱っているの、あまり重要視する項目でなくてもよいと考える。

(委員)

この委員会の選定基準として農用地区域、地すべり防止区域、標高800m以上などを除外してきたが、経済的にこの候補地は安価であるとか高価であるというのは大事なことであるとは思いますがあまりこだわらなくてよいのではないかと考えるので委員長の意見でよいと思う。

(1) 現地調査後の評価について

(委員)

第 1 3 回の委員会で現地調査を行ったが、個人的に独自の評価をしてみたが、候補地 3 である豊殿産業団地は、団地造成時の経過や利水の関係など総合して客観的にみると候補地の評価として非常に高いといえる。

候補地 1 6 - 1 である東山地区自然運動公園隣接山林については、いくらか傾斜地であり、上田市のバイオセンターがあったが見た限り機能していないように思えるので、一体的に整備すれば良いのではないかと考える。

候補地 2 1 である川西地区泉池造成地及び隣接山林については、候補地として上位であると考えていたが、ネックになると思われるのが周辺に住宅が近隣にあるということである。しかし、小泉自治会の役員さんからの情報収集では、前向きな意見があり安全性などに優れた施設であれば地域振興に役立てたいという先進的な考え方をされている地域のリーダーが発言されているのであれば、地域の考えとしての的をはずしているとは思えない。以上の 3 候補地について強く推したいと考える。

(委員長)

候補地についての御意見をいただいたが、候補地ごとに御意見をいただければと思うが、候補地 3 である豊殿産業団地からお願いしたい。

(委員)

優先項目で評価した省エネルギーの項目としてごみ収集車の総運搬距離について評価もよく、広域的にみても主要幹線道路やアクセス道路が整備されているので、立地条件は優れていると考える。また、豊殿地区は棚田などの農作物に特色があり、遠くからの来客もあるのでエコツーリズムなども考えると人が集まりやすい地域であるという評価をした。

(委員)

どの候補地ということではないが、前回までの委員会で重み付けして点数化し、順位付けして候補地を絞り込むという意味では妥当であったと考える。しかし、優先項目の評価で残された 1 0 候補地について点数化された順位付けが一人歩きすることがあるので、はずしておいた方がよいのではないかと考える。

現地調査を 2 回実施したが、季節も異なりまた状況の変化もあった。一般的な選定の方法の手法としては、はずすというか狭めていくという方式がまだ有効であると思う。

候補地の中にすでに民間企業が開発しているところもあるようなので、候補地としておくのはどうかと思う。

それから、傾斜地で青々と茂っている候補地もあったが、候補地としてはどうかという印象を持った。

隣接して候補地となっているところがあるが、地域としてベターな候補地に絞り込めるのではないかと考えるので、候補地を 5 箇所程度にできるのではないかと考える。

(委員長)

今までこの委員会が行ってきた不適になった地域をはずしていく手法については、ある意味限界にきていて、ここまできると各候補地に一長一短があって、優先項目で評価した順位付けは、絞り込み作業の結果であり、候補地とすれば横一線であると考えている。

これからは、候補地ごとの個別的・具体的状況を判断しながら委員会で判断していくというご提案があったが御意見はどうか。

(委員)

候補地を絞り込んでいかななくてはいけないと思うが、過去の委員会で神の倉工業団地が適地であるという判断をした経過があるが、事務局から与えられた条件がすべてであると考えていたが、となりの自治体の状況までは情報がなかったということがあり、候補地として断念することになった経過がある。

現在の委員会では、一定の条件のもと10候補地まで絞り込んできたが、現在の上田クリーンセンターの東側にJTの跡地がある。この委員会では、民間の開発計画があるということですので除外されているが、一部を公共用地として使用したいという上田市の方針であるが、現在、JT跡地の利用方法として上田市が設置した「公共的整備内容に関する研究会」を設置したところである。9月末ぐらいまでにどのような公共施設が良いのか研究会として方向性を出さなくてはならない。

公共施設以外のところについては、すでにイトーヨーカドーと契約して大商店街にする計画であると聞いている。敷地の用途地域としては、2/3については工業地域、1/3については準工業地域であるので、用途変更をしないと商業施設は建設できないことになる。かつては専売公社の所有地であるので国有地であったが、現在では、日本たばこ産業株式会社として民間企業になった土地であり、昨日、6万坪という広大な土地を見学した。

先月、品川区、大田区、川口市の清掃工場を見学してきたが、住宅街の真ん中に清掃工場がある。品川の清掃工場の隣に4万人の団地があり、清掃工場でごみを焼却した余熱利用としたお湯と発電した電気を供給している。

8割のごみは上田市であるとすれば、市街地にごみ処理施設を建設し、安全性を重視する観点からからも公共施設を隣に建設すれば、地域住民の不安はないのではないかと考える。これから委員会として10候補地からさらに絞り込んでいくとは思いますが、11番目の候補地としてJT跡地も含めて検討してもらいたい。委員長の考え方をお聞きしたい。

(委員長)

この委員会で議論した中では、J Tの跡地については民間の開発計画があるということで除外とした経過がある。状況が変化してきたので候補地をして入れられるかというところ少し難しいと考えられる。

現在、上田市が設置した「公共的整備内容に関する研究会」が設置され、跡地利用について議論が進められているところである。その研究会としてごみ処理施設についても考えられて、提案があればこの委員会で議論が出来るのではないかと思う。そうでないとこの委員会でJ T跡地についても候補地に含めてもう一度再協議するとJ T跡地で決めるという意思表示に近いことにはならないか。今まで進めてきたこの委員会で議論してきたことがどうなのかということもある。この委員会で候補地の結論を出すのはもう少し時間がかかるので、J T跡地の研究会の結論を待ってからでも遅くはないのではないかと考えるが。こちらの委員会から上田市が設置した研究会にJ T跡地を候補地としてお願いするということにはならないのではないか。

(委員)

昨日、第1回目の「公共的整備内容に関する研究会」が開催された。研究会の何人かの委員から資源循環型施設建設候補地選定委員会でもJ T跡地について考えてくれないかということと言われ、当然、研究会でもごみ処理施設について議論していきたいという委員がいるので、御意見として尊重していかなくてはならない。

(委員長)

この委員会の方針として客観的に一定の条件を加えながら候補地の選定を進めてきた。除外されてしまったので検討はしないというのではなく、状況の変化により候補地としての条件を満たす適地が出てきたら、その都度検討するということも含めて議論を進めてきているので矛盾しないと考える。J Tの跡地を除外した時点での条件と現在の状況が変化してきていることがあるので、状況に応じて候補地として議論することは考えられる。これはどの地域にも考えられることであると思う。

(委員)

J T跡地は敷地内に建物は無いので大変広大な敷地であることに驚いた。品川清掃工場は森林の中に清掃工場があるイメージであったので、J T跡地についても広い森を作り、公共施設と併設してごみ処理施設を建設すればよいのではないかと考えるが、希望者については、敷地内の見学も可能だそうなので一度御覧になってはどうかと思う。

(委員長)

議論する時間が限られてきているので、候補地ごとではなく各委員さんから全体の御意見をお願いしたい。今日の委員会では、自由に御意見を出していただいて、事務局でも整理してもらい、次回の委員会で候補地の絞り込みの議論をしたい。

(委員)

この委員会は、客観的に候補地の選定を進めてきたが、優先項目の評価において4項目を重み付けして点数化し、候補地を順位付けしたが、候補地16-1である東山地区自然運動公園隣接山林と16-2である東山地区マルチメディア情報センター隣接山林は上位であった。実際、現地をそれぞれ確認したが、最有力候補であると考えている。

もう一つとして候補地21である川西地区泉池造成地及び隣接山林は、小泉自治会の役員さんからの情報として、ごみ処理施設を逆に誘致することによって、地域の活性化を図りたいということがあるので、すごく大事にしたいと考える。

(委員)

ごみ処理施設について誘致する地域は無いと思っていた。しかし、前向きな御意見をお持ちの地域があるということは嬉しく思う。事務局にお願いしたいのは、資料2の8ページに「映像などで施設を紹介して具体的に示すことも大切ではないか」という御意見もあるので、事務局に準備をお願いしたい。

候補地16-1である東山地区自然運動公園隣接山林、16-2である東山地区マルチメディア情報センター隣接山林については、周辺の既存公共施設を含めて公園なども整備可能ではないかと思う。

(委員)

J T跡地に関する御意見があったが、現時点で候補地として追加するのか、仮に追加するとすれば、今までの評価や地域への情報収集も必要ではないかと思うが、委員会としての意見を少し整理した方が良いのではないか。

(委員)

委員さんの中でも資源循環型施設をかなり視察されていると思うが、これからの子供たちが視察見学出来やすい場所をお願いしたい。

(委員)

候補地を選定するにあたって地理情報システムを活用してきたが、システムの重要な要素として公平性が挙げられると思う。

J Tの跡地の問題に関しては、要望があれば今まで選定してきた条件を照らし合わせて、もう一度、地理情報システムで候補地として妥当であるかどうかを検討しても良いのではないかと思う。妥当であれば候補地に追加しても良いのではないかと思う。良い理由としてごみの排出は多いところで施設を建設するべきで山の中に建設するべきではないと思う。また、ごみの排出される量が多い場所についてはアクセスも良い。

除外する候補地としての意見とすれば、候補地11-1である神の倉工業団地(2号区画の一部)、候補地15-1である砂原峠砂原池隣接山林、候補地15-2である砂原峠旧丸子町側山林については、ごみ収集車の通行を考えると非常に余計な負担をかけるように考えられる。また、人が集まりやすい場所という観点から見ても疑問を感じる。

(委員長)

委員からの御指摘のとおり新しく候補地を検討する場合、この委員会が進めてきた方法でチェックをする。そうでないと、この委員会で候補地とするかどうかの議論にならないし、チェックすることは前提条件であると思う。

(委員)

候補地として10箇所まで絞り込んできたが、資料2の7ページにある「千曲川の水害を受けた場所である」という御意見があるが、この委員会でも危険箇所等は候補地から除外して検討してきているが、地域の情報であるので、候補地選定にあたっては考慮してもらいたい。

候補地16-1である東山地区自然運動公園隣接山林、候補地16-2である東山地区マルチメディア情報センター隣接山林については、学園都市、工業都市としての条件が非常に良いと考える。ごみの排出量が多いのは上田市なので御意見などがあつたJ Tの跡地は適地であると考え。

(委員)

今までの選定の経過や現地調査の結果から総合的に判断すると候補地21である川西地区泉池造成地及び隣接山林が一番の適地であると考え。

候補地16-1である東山地区自然運動公園隣接山林、候補地16-2である東山地区マルチメディア情報センター隣接山林については、自然が豊かな地域で新たな搬入道路が必要であり、大学付近の道路は込み合うので候補地としてはどうかと考える。

候補地24-2である上田クィンセンター周辺は、現在の施設周辺にもう少し用地を広げていけばできるのではないかと思う。

候補地11-1である神の倉工業団地(2号区画の一部)については、ごみ収集車が実際運搬するのにどうかと思うのと余熱利用施設が地域住民などにうまく利用されるか疑問であるため、候補地として除外としたらどうか。いずれにしてもごみの排出量が多い上田市に建設し、地域住民に良かったと思えるような施設にしていきたいと考えている。

(委員)

先ほど候補地3である豊殿産業団地用地について意見を述べさせてもらったが、現地調査した結果、候補地16-1である東山地区自然運動公園隣接山林についても、大学はあるがプール施設などもあり余熱利用施設として年間通じて利用可能になると考えるので利用価値が高いのではないかと。

候補地11-1である神の倉工業団地(2号区画の一部)については、過去の委員会でどういう過程で候補地を決定されたのか現地をみて疑問を感じた。環境教育という面からしても人が集まりにくい場所であると感じた。

委員さんから上田市がごみの排出量が多いという御意見があったが、上田地域広域連合全体で上田市としてのごみ排出量の割合は8割であるが、各家庭のごみ排出量がどうであるかの議論はされていないので、単純に上田市のごみは多いというのは大変心外である。

ごみ減量アドバイザーとしてごみの減量化をお願いしているが、上田地域広域連合の圏域内の消費者の会の方とお会いした時に、ごみの減量化のための活動に対して驚かされていた。ごみの減量化の取り組みがされていない地域がまだあるので、それぞれの地域でごみの減量ということを情報発信しながら活動していただきたい。

(委員)

地域還元施設は当然考えなくてはならないが、地域の活性化計画などを提示していくことも大切である。JTの跡地については、当初民間の所有地であり、ごみ処理施設でも良いのではないかと議論があったと思うが、民間の開発計画があるということで除外されたという経過があったと理解している。委員さんからの御意見は、ひとつの状況変化があったと思うし、仮にこの委員会での評価手順を踏まえて候補地となる評価であれば候補地として議論することは可能であると考えます。

しかし、財政的な問題もあるので、候補地となるかは現時点では未確定で先行き不明である。

ひとつ申し上げたいのは、この委員会で議論をする期限が限られてきているので、最終的な広域連合長へ提言する内容についてどうするのかということを考えなくてはならない。候補地を1箇所として提言する方法と複数の候補地を残し、順位付けするにしても政治判断、行政判断する余地を残す方法が考えられると思う。

(委員)

資源循環型施設を建設する場合、出来れば山の中ではなく、市街地の森の中に地域住民が環境教育もできる施設を併設するのが理想であると思う。

候補地 15 - 1 である砂原峠砂原池隣接山林、候補地 15 - 2 である砂原峠旧丸子町側山林、候補地 16 - 1 である東山地区自然運動公園隣接山林、候補地 16 - 2 である東山地区マルチメディア情報センター隣接山林については、山の中で適地ではないと考える。

過去の委員会での経過については、当時とすると 2 箇所の候補地があり、神の倉工業団地が適地であるという選定経過があった。

候補地 11 - 1 である神の倉工業団地(2号区画の一部)については、余熱利用先などの問題や人が集まりやすいとはいえない場所であるので適地ではないと考える。

候補地 9 - 2 である上川原工業団地用地及び周辺農地については、平地としてあまり広く活用できないことから適地ではないと考える。

候補地 21 である川西地区泉池造成地及び隣接山林については、地域で病院を誘致したい署名運動が行われ、自治会役員の皆さんの御意見は前向きではあるが、地域住民の方たちの御意見はどうなのか、ごみ収集車の搬入経路も幅員が狭いので問題はあると考える。

候補地 24 - 1 である清浄園隣接農地については、余熱利用する場合、ハウス栽培が盛んなところであり、アクアプラザの屋内プール施設についても余熱利用が検討できると思うが、線路と千曲川に挟まれて奥行きが不足しているため、候補地 24 - 2 である上田グリーンセンター周辺も含めて森の公園の中に施設があるということは考えられない。

候補地 3 である豊殿産業団地用地については、造成済みであるが当初上田市が公設市場用地として計画したが、状況が変化し豊殿産業団地として売却することになった。地域の要望としては病院が希望であり、ごみ処理施設は反対である。

J T 跡地については、余熱利用等の利用には期待ができる場所であると思う。J T 側から公共施設の利用について早く決定してもらいたい意向がある。

(委員)

過去の候補地の選定経過については色々あったが、しかし、ごみは適正に処理していかなくてはならない。最新式の安全である施設を建設するとしても、現状では迷惑施設であるというのが一般的である。

現地調査した結果、候補地 3 である豊殿産業団地用地が一番の適地であると思う。その他として候補地 21 である川西地区泉池造成地及び隣接山林、候補地である 16 - 1 東山地区自然運動公園隣接山林、候補地 16 - 2 である東山地区マルチメディア情報センター隣接山林についても適地として考えられるのではないかと思う。

J T の跡地については、地域との合意を図れば財政的な問題もあるが、候補地となる可能性もあると思う。

(委員)

J Tの跡地については、水の問題と地域の合意を図れば候補地となることに賛成である。しかし、市の財政的な問題、J Tの考え方などがあるが候補地としては理想的である。

その他として候補地16-1である東山地区自然運動公園隣接山林、候補地16-2である東山地区マルチメディア情報センター隣接山林、候補地21である川西地区泉池造成地及び隣接山林は適地であると考ええる。

特に候補地21である川西地区泉池造成地及び隣接山林については、自治会役員の方の理解があるので、地域住民の理解がなくてはならないと思う。

(委員)

J T跡地については、一番適地であると前から考えているが、上田市で設置している研究会での議論はこれからであると感じている。この委員会としては提言まで時間が無いので10箇所の候補地は絞り込みを進めていけば良いと思う。

候補地24-1である清浄園隣接農地が一番の適地であると考えている。施設の必要な面積として4haとしているが、管理棟などは隣接する清浄園を活用すれば効率的である。

候補地21である川西地区泉池造成地及び隣接山林であるが、道路事情があまり良くないが、拡幅工事などは可能な地域であり適地と考える。

候補地3である豊殿産業団地用地については、地域の反対はあるが造成済みで広大な土地があり適地であると考ええる。

(委員長)

すべての委員さんに御意見をいただいたが、追加の御意見はあるか。

(委員)

提言についての御意見があったが、この委員会で候補地の選定する上でJ T跡地の問題はあるが、時間的制約があるので10候補地の絞り込み作業を早く進めていくべきであると考える。

(委員)

現在、上田市が設置した「公共的整備内容に関する研究会」の方針決定を秋ぐらいまでを目途に議論していくと思うが、この委員会でJ T跡地を候補地とするかしないかは、研究会の結論を待ってからでは間に合わない。

(委員)

この委員会の委員の委嘱期間は12月末までとなっているが、提言の目途は10月となっている。上田市が設置して検討しているJ T跡地の情報について教えていただければ有り難い。

(委員)

商業施設として利用を考えれば、ごみ処理施設ではなく、市役所とか市民会館などが良いという考えであると思う。上田市民などから上田市の貴重な財産であり、ごみ処理施設は大事な施設であるので、検討したらどうかという御意見が多数あれば、考えなければならぬと思う。JT側からごみ処理施設という意見はない。

JT側は商業施設を中心に考えているので、公共施設として集客力がある施設を望んでいる。

(委員)

そうであるとするところまで委員会で進めてきた選定経過があるので、この委員会としてJTの跡地について現時点で候補地にするということが出来ないと思う。

(委員)

JT跡地にごみ処理施設を建設することについては、理想的ではあるが、土地の買収についてはかなり多額の支出が免れないことに財政的な問題は大丈夫なのか、住民の理解は得られるのか問題である。公共施設をJT跡地に入れることに賛成ではあるが、広大な土地を上田市が取得出来るのか問題がある。

(委員長)

現段階で財政的な資料はないのでこの委員会では判断できない。

(委員)

JT跡地については、約15万円/坪である。

(委員)

土地を取得してごみ処理施設を建設するとなると、国からの交付金はあると思うが、上田市だけでなく広域連合全体の構成市町村が多額の借金を背負って施設を運営していかなくてはならなくなり、財政的にかなり厳しいことになる。仮にJT跡地にごみ処理施設を建設した場合、周辺住民の合意が得られるかどうか。すべて含めて総合的に理事者が判断することになると思う。

(委員長)

今日の段階でJT跡地を候補地とすることは出来ないと思う。状況の変化によりJTの跡地について候補地として検討することも考えられるということに決めておきたい。事務局の方では候補地になった場合、すぐに評価が出来る体制の準備をしておいていただきたいがよろしいか。

(各委員)

特に異議なし。

(事務局)

J T跡地についてこの委員会の議論として事務レベルで確認をしておきたいと思います。評価についても今までに候補地を評価した項目によって評価がどうなるのか準備しておきたいと思います。

(委員長)

今日のこの委員会での議論を事務局に整理してもらって、さらに議論したい。

候補地ごとの情報収集に御意見をいただいているが、今後の作業を進める上でより多くの地域住民の方からの御意見もいただかなくてはならない。その時には施設のイメージというものを鮮明に出さないと理解していただけないと思うので、次回の委員会で今後の進め方するのか議論したい。

10月を目途に広域連合長へ提言するという事になっているので、どのような提言の方法にするか議論出来るようにしたい。

5 その他

次回委員会について(日程調整)

(事務局)

次回の委員会の日程について事前にお送りしました日程調整表について、お手数ですがFAXでお送りしていただきたいと思います。次回委員会は8月中に開催したいと考えておりますのでよろしくをお願いします。

(委員長)

他に御意見はどうか。

本日はこれで終了としたい。

6 閉会

(事務局)

閉会(11時40分)